

目次

| | |
|--|----|
| 第1章 調査の概要 | 3 |
| 1. 調査の目的 | 3 |
| 2. 調査方法 | 3 |
| 3. 回収結果 | 3 |
| 4. 集計上の留意点 | 3 |
| 5. 統計上の用語について | 3 |
| 第2章 調査結果 | 7 |
| 1. 回答者の属性 | 7 |
| 【F1】性別 | 7 |
| 【F2】年齢 | 7 |
| 【F3】職業 | 8 |
| 【F4】就労状況 | 8 |
| 【F5】婚姻状況 | 9 |
| 【F6】夫婦の就労形態 | 9 |
| 【F7】子どもの有無 | 10 |
| 2. 男女平等意識について | 11 |
| (1) 様々な分野における男女の地位の平等意識 | 11 |
| (2) 社会全体でみた場合の男女の地位の平等意識 | 17 |
| (3) 男女が平等でない原因 | 21 |
| (4) 男女が平等になるために重要なこと | 24 |
| (5) 夫婦同姓・別姓を選択できることに対する考え方 | 28 |
| 3. 家庭生活について | 30 |
| (1) 性別役割分担に対する考え方 | 30 |
| (2) 性別役割分担に対する考え方に賛成する理由 | 34 |
| (3) 日常生活における役割分担についての理想と実際 | 37 |
| (4) 男性が家事、育児をすることについての考え | 41 |
| (5) 家庭で高齢者介護を女性が多く担っていることに対する考え | 45 |
| (6) 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の関わり方の希望と現実 | 47 |
| (7) 男女が家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加するために必要なこと | 53 |
| 4. 社会活動・地域活動について | 57 |
| (1) 社会活動・地域活動への参加状況 | 57 |
| (2) 女性が社会活動・地域活動に参画していく上で必要なこと | 60 |
| 5. 就労について | 63 |
| (1) (結婚、子育てを踏まえた)女性の仕事に対する考え | 63 |
| (2) 現実の働き方で「仕事を(一時的に)やめる」「仕事はもたない」を選んだ理由 | 66 |
| (3) 職場での男女格差の有無 | 68 |
| (4) 社会全体としての女性の働きやすさに対する考え | 71 |
| (5) 女性が働きにくいと思う理由 | 74 |
| (6) 女性の活躍が進んだ時の社会・組織の姿 | 78 |

| | |
|---|-----|
| 6. 教育について | 82 |
| (1) 子どもの育て方についての考え | 82 |
| (2) 男女共同参画を実現するために学校教育の場で必要なこと | 85 |
| 7. 女性の政策参画について | 87 |
| (1) 方針・政策を決める際の女性の意見の反映度 | 87 |
| (2) 政策の企画や方針決定の過程に女性が進出していない理由 | 93 |
| (3) 女性の意見を政治や行政に反映させるために効果的と思われること | 96 |
| 8. 人権・暴力について | 98 |
| (1) ドメスティック・バイオレンスに対する考え方 | 98 |
| (2) 配偶者等からのDVの被害経験の有無 | 103 |
| (3) 配偶者等からのDVにより命の危険を感じたことの有無 | 107 |
| (4) この1年間の配偶者等からのDVによる被害の有無 | 110 |
| (5) 10歳代から20歳代における交際相手の有無 | 112 |
| (6) 10歳代から20歳代における交際相手からのDVの被害経験の有無 | 114 |
| (7) 10歳代から20歳代における交際相手からのDVにより命の危険を感じたことの有無 | 117 |
| (8) DVにあった際の相談の有無 | 119 |
| (9) DVにあった際、どこ(だれ)にも相談しなかった理由 | 121 |
| (10) DVの未然防止にとって必要なこと | 124 |
| (11) メディアにおける性・暴力表現についての考え | 127 |
| 9. 男女共同参画に関する用語 | 129 |
| (1) 用語の認知度 | 129 |
| 10. 行政について | 133 |
| (1) 男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきこと | 133 |
| 11. 自由意見 | 136 |
| 第3章 資料 | 147 |
| 調査票 | 147 |